

Place for Children 地域や人のつながりで 子どもの居場所を提供

学びと成長につながる場
放課後子ども教室



緑台小学校放課後子ども教室 運営委員 高木美紀子さん

放課後や休日の居場所

共働き世帯が増えていますよね。放課後や休日に子どもの過ごす場所が、以前より必要です。部活動や塾などで過ごす子どももいますが、それだけでは補いきれません。そんな中開かれたのが放課後子ども教室です。役割が近いものに留守家庭児童育成クラブがありますが、保護者の就労状況などの条件がなく、小学校高学年の児童も多く参加しているのが特徴ですね。私が担当している緑台小学校区の放課後子ども教室では、将棋や囲碁、ブラスバンドの他に、読書、生け花、テニスなどの教室を開催。私は主に学校や関係機関、団体などとの調整をしています。

つながりを生む場

同教室の先生の多くは退職された年配の方で、保護者や教室のOB・OG、中学校の部活動の生徒、地域の方がそのサポートをしています。それが学校や年代を超えた地域をつながりを生んでいます。皆さんは教えることを生きがいと感じているようです。



学びと成長の場

し、自分の子どもが卒業しても手伝う保護者がいるなど、みんな楽しんでやっています。私も成長した子どもに会うのがとても楽しみなんです。実は私の娘も友達と一緒にブラスバンド教室を手伝っているんです。もしかすると最初は少し面倒に感じていたかもしれませんが、でも、長く子どもと接するうちに、親心に近い思いを抱いてくれたようで、今ではうれしそうに子どもたちの話をしてくれそうです。

現在、緑台小学校の生徒の約3分の1が放課後子ども教室に参加しています。教室で人とつながる楽しさを体験してほしいですね。

放課後子ども教室には小学1年生から6年生まで参加しているため、子ども同士で教え合うこともよくあります。それもあってか成長には目を見張るものがあります。例えばブラスバンドは練習が始まってから2カ月程度で地域の夏祭りに出演するんですよ。最初全く演奏できなかった子どもたちが、本番では立派に演奏しています。

そういった成長を見るのが私のやりがいですね。今後もただの居場所ではなく、学びと成長につながる場として活動していこうと思います。



とうがん 冬瓜スープ

子どもにも大人気 夏の給食定番スープ

おとな子どもも
食と育つ

保健センター
☎(758)4721

レシピ 市立保育所・こども園給食部会

- 材料 4人分
- 鶏もも肉 120g
- トウガン 320g
- エノキタケ 小1袋
- ニンジン 中1/2本
- 青ネギ 1/2本
- 片栗粉 小さじ1弱

【調味料】
かつおだし(800cc)、薄口しょうゆ(大さじ1)、塩(少々)
熱量(おとな1人分): 100kcal、塩分: 1.4g

- 作り方
- ①鶏もも肉は一口大に切る。トウガンは皮とワタを取り、2斜角に切る。エノキタケは1斜程度に切り、ニンジンはいちょう切り、青ネギは小口切りにする。
- ②かつおだしに鶏もも肉、トウガン、エノキタケ、ニンジンを入れ、あくを取りながら軟らかく煮る。
- ③薄口しょうゆ、塩で味を調え、青ネギを加えて少し火にかける。水溶性片栗粉でとろみをつけて仕上げる。

人権啓発シリーズ

生きる 人権推進課 ☎(740)1150

いじめの共同性

いじめは人の両義性が引き起こす不幸な現象
そのことを押さえた上で本質的な議論を

子どもをめぐる人権問題として、今大きく取り上げられている問題の1つが、学校の中のいじめです。確かに、それは大事な問題です。ただ、このいじめが心理学的にどのような現象であるかが、十分に理解されていないのではないかと考えてなりません。

5年前に制定された「いじめ防止対策推進法」でも、いじめをできるだけ早期に発見し、加害者の子どもを指導し、適切な処遇を施すよう決められましたが、そのいじめがそもそもどのようなものかについて、本質的な議論がなされていたように思えません。

いじめの典型は、一対多の関係で起こります。いじめられる「一」は「多」から締め出され、「多」の側は「一」のおかしなところを取り出して、それを材料にして笑い合うことで互いの共同性を確認し合います。一方の「一」は、「多」が見せつける共同性ににじり寄りとうしてもはなつけれ、ひたすら笑いの材料として扱われてしまう。あるいは反発して反撃しようとしても、その反撃はむなしく、再びそのむなしい反撃の姿を笑われてしまう。そういう中で「一」の側は孤立し、その孤独性を徹底的に突きつけられてしまうのです。

人はその身体において、どうしても1人であり、孤独な存在でありながら、他方で、どうしてもなく共同的な存在だという話を、これまで繰り返してきましたが、いじめはまさにその両義性の故に起こってしまう不幸な現象なのです。そのことを正確に押さえておかない限り、いじめを克服することはできません。

(前川西市子どもの人権オンブズパーソン 浜田寿美男)

消費生活センターだより 消費生活センター ☎(740)1167

鍵の出張修理サービス

電話帳やネット広告の表示料金とは違う
高額な請求に注意!

事例1 外出中に自宅の鍵を無くした。電話帳で「安心価格見積無料」の広告があった鍵開け業者に電話をすると「実際に鍵を見ないと金額は分からない」と言われた。来てもらおうと「鍵の交換は出張費を含めて4万円」と言われ、高いと思ったが仕方なく払った。後日、別の業者に問い合わせると「その鍵なら2万円で交換できますよ」と言われた。高額で問題だと思う。(50歳代 女性)

事例2 車の鍵を車内に忘れロックしてしまった。スマートフォンで鍵開け業者を検索し、車種名を伝えて料金を聞いたが「行ってみないと分からない」と言われた。ホームページに「鍵開け5,000円から」とあったので、高くても1万円くらいと思っていた。作業員に「鍵が特殊なので5万円」と言われ「広告との差が大き過ぎる」と言うと「どこでもこんなものだ」と言われた。作業員が工具で作業をしたが開かず、ドアの隙間に板を挟んでわずくでロックを解除した。5万円は特殊な技術を使った料金ではないかと抗議し3万円になったが、高額過ぎる。いくらか返金してほしい(30歳代 男性)

「鍵を紛失して家に入れない」「鍵が開かない」などの緊急事態は、誰でも慌てて契約してしまいがちです。広告と違い、高額な請求をされたといった相談が寄せられています。依頼する際は作業内容と料金(鍵の代金や技術料、出張費など)をよく確認しましょう。作業前に再度、料金の確認をしてください。作業時は、家族や周りの人に立ち会ってもらいましょう。緊急時に備えて、日頃から事業者を把握しておくことも大切です。

市政情報

求人・募集

発表・鑑賞

セミナー

スポーツ

カレンダー

福祉

相談の案内

高齢者

子育て

コラム

ニフオース

